

2024年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2年 観光科 トラベルコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2024 年度昼間部 2 年 観光科トラベルコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	7	8	6	6	27
	専門科目	17	21	20	20	78
合 計		24	29	26	26	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期					
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数		
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15	卒業研究 I	講	2	30	卒業研究 II	講	2	30		
	キャリアデザイン I	演	2	30	キャリアデザイン II	演	5	75	キャリアデザイン III	講	1	15						
	ビジネスコミュニケーション I	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーション II	講	1	15	ビジネスコミュニケーション III	講	1	15		
	就職筆記対策 I	講	1	15	就職筆記対策 II	講	1	15	脳力開発 I	演	1	15	脳力開発 II	演	1	15		
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	15	Let's Speak English IV	演	1	15		
	パソコン	演	1	15										国際交流	演	1	15	
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90		
必修科目	国内観光資源 I	講	1	30	国内観光資源 II	講	1	30	国内観光資源 III	講	1	30						
	海外観光資源 I	講	1	15	海外観光資源 II	講	1	15	海外観光資源 III	講	2	30						
	時刻表実務 I	講	1	30	時刻表実務 II	講	1	30	地域創生インバウンド I	演	2	30	地域創生インバウンド II	演	2	30		
	観光業界ガイド	講	1	15	アマデウス	演	2	30	接客手話 I	演	1	15	接客手話 II	演	1	15		
	観光素材研究 I	演	1	30	観光素材研究 II	演	1	30	観光プランニング I	演	2	30	観光プランニング II	演	2	30		
	観光実務 I	演	1	15	観光実務 II	演	2	30	観光実務 III	演	2	30	観光実務 IV	演	2	30		
	PC入門	演	1	15	パソコンスキル I	演	2	30	パソコンスキル II	演	2	30	パソコンスキル III	演	2	30		
	デジタルスキル I	演	2	30	デジタルスキル II	演	2	30	デジタルスキル III	演	2	30	デジタルスキル IV	演	2	30		
	自己表現 I	演	1	15	自己表現 II	演	1	15					自己表現 III	演	1	15		
	国内管理者対策 I	講	2	30	国内管理者対策 II	講	2	30	国内管理者対策 III	講	2	45	社会人準備講座	演	1	15		
	世界遺産	講	2	30	サービス接遇 I	演	1	15	サービス接遇 II	演	1	15	インプロビゼーション	演	1	15		
	硬筆・書写検定対策 I	講	1	15	硬筆・書写検定対策 II	講	1	15	マーケティング	講	1	15	マーケティング	講	1	15		
					Travel English I	演	1	15	Travel English II	演	1	15	Travel English III	演	1	15		
	添乗実務 I	演	2	30	添乗実務 II	演	2	30	マイクロツーリズム I	演	2	30	マイクロツーリズム II	演	2	30		
					企業実習	実	1	30										
小計		17	300	小計		21	375	小計		20	330	小計		20	330			
1年前期 計		24	405	1年後期 計		29	495	2年前期 計		26	420	2年後期 計		26	420			
計		1年 計			53		900		2年 計			52		840		105		1740
		2年間 合計																

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事	スタートアップセミナー オリエンテーション スポーツ大会 業界視察	就職ガイダンス 中村学園祭 業界視察 観光地研修 海外研修旅行	オリエンテーション スポーツ大会 業界視察	中村学園祭

共通科目

シラバス(授業計画)

科目名	卒業研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	各ゼミ講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。				
到達目標	①自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ②プレゼンテーションの作成及び発表を行う。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担当者より配布)				
授業計画	<p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究とは ・テーマの決め方 ・レポート作成における調査研究方法 <p>【調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査計画の作成 ・調査研究の進捗に合わせた個別指導 ・実施内容の確認 <p>【レポートのまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート構成(序論、章、まとめ) ・レポート内容(目的、方法、結果、考察) ・文献資料を参考し作成する <p>【発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの作成 ・サマリーの作成 ・台本の作成 ・プレゼンテーション練習と本番での発表 				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・平常点は授業取組姿勢、研究意欲等を考慮する。 ・以下の提出物は全て提出すること。 <p>【提出物】前期:序論 後期:レポート・発表用資料</p>				
成績評価基準	<p>A: 出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B: 出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C: 出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザインⅢ	科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース	授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位
担当	就職担当		
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無		
授業概要	<p>1年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。</p> <p>就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。</p> <p>後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。</p>		
到達目標	<p>1、内定及び進路決定を得ること。</p> <p>2、社会人としての最低知識を有し、実行できること。</p> <p>3、自身の就職活動をまとめ、後輩指導に役立たせられること。</p>		
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:		
教科書 教材	MY CAREER NOTEⅢ(ベネッセ iキャリア) 1年次購入済み		
授業計画	<p>【就職活動実践】 就活サイトを利用した就活、企業研究、求人確認、業界・企業動向研究、自己PR・志望動機作成、履歴書・ES作成、面接演習、GPワーク演習、小論文演習、SPI対策と模擬試験演習、企業講演</p> <p>【内定後】 お礼状作成、内定報告書類作成、就活資料の整理</p> <p>【ビジネスコミュニケーション】 ビジネスメール作成、受付と接客対応、名刺交換、ビジネスルールの理解、ビジネスセールストーク術、時事問題、グループワーク演習</p>		
成績評価 方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。		
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 65点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>		

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ・Ⅲ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	井部・橋本・担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	目的：観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要：1年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。				
到達目標	卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体現できること。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：秘書技能検定・ビジネス能力検定ジョブパス				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社 (1年次購入済み)				
授業計画	<p>【接遇】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換 ・電話応対 ・上座、下座 <p>【一般常識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書(基本文書体裁とルール、宛名書き) ・ビジネスメール ・ビジネス用語 <p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金、税、保険 ・組織(役職)と部門 ・慶弔 ・その他社会人として必要な知識 <p>ロールプレイ等を交えた実践的内容となると良い。</p>				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	脳力開発Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	住友 大我				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に約20年の実務経験があります。			
授業概要	心身ともに健康な状態で社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心に脳の働き(脳力)を高める方法を学びます。				
到達目標	緊張からリラックス・集中への反射を形成する、ストレス耐性を高める、モチベーションを高める、発想力を高める、ポジティブシンキングを身に付けるなどの内容を、脳の働き(脳力)にもとづいて理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：メンタルウェルネストレーニング基礎課程				
教科書 教材	授業用教材セット				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンタルトレーニング 思い方の練習(期待感と満足感を高める) 段階的リラクゼーション法(緊張からリラックスへの反射形成) 自律訓練法(リラックスした集中への反射形成) ・ ビジョントレーニング 情報処理能力の向上(脳活ドリル、他) イメージ力、思考力の向上 ・ 脳力を発揮するための生活習慣 睡眠に関連する内容(疲労回復、記憶力、発想力など) 運動、食事に関連する内容、他 ・ その他 自己分析(エゴグラム) メンタルヘルスに関連する内容(ストレスマネジメント、他) 能力発揮に関連する内容(目標設定、モチベーション、他) 				
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(提出物・授業態度など)の組み合わせで評価します。 詳細は、各期の初回授業で説明します。				
成績評価 基準	【試験】 A: 80点/ %以上、B: 70点/ %以上、C: 50点/ %以上、D: 50点/ %未満 【出席率】 A: 100%、B: 80%以上、C: 60%以上、D: 60%未満 【平常点】 A: 優、B: 良、C: 可、D: 不可				

学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施する予定です。
合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。
なお、受検料は発生しません。

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	<p>【My Hometown】 Asking about & describing places, asking for & giving suggestions, asking for & giving directions.</p> <p>【Shopping】 Prices & features, bargaining, frequency</p> <p>【Food】 Quantities, needs, eating habits, describing food</p> <p>【Past & Future】 Talking & asking about past events, introducing & reacting to news, future plans</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)49%以下、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

Message to students:

Don't be shy! Do your best!
Use this great chance to practice speaking as much as possible in a small group.

トラベルコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	国内観光資源Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 :1 単位	時間数	前期 :30 時間
担当	松川 信也				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。			
授業概要	<p>1年次で学習した国内の観光地情報の応用と知識の再定着を目的とし、当授業では、以下の2本立てで「旅を楽しむ手段」としての幅広い知識を身につける。</p> <p>I・観光地情報の知識再定着・拡充として以下のジャンル別学習</p> <p>① 湖沼・滝・鍾乳洞＜自然景観＞</p> <p>② 神社仏閣＜文化＞</p> <p>③ その他の主要観光地</p> <p>II・国内の旅を楽しむ応用材料として以下のテーマ学習</p> <p>①「日本の有名駅弁」…駅弁の楽しみ方と実際の有名駅弁を学習</p> <p>②「日本神話のふるさと」…古事記・日本書紀に出て来る出雲神話や日本創世神話をその舞台となった場所を近辺の観光地とともに学習</p> <p>③「日本のパワースポット」…勝負運、金運、縁結びなど、パワースポットと言われる場所をその近隣の観光地とともに学習</p>				
到達目標	主たる国内観光地情報を説明できる。また上記3つの応用地理テーマ(駅弁・日本神話のふるさと・パワースポット)の主たる内容を理解し、国内旅を楽しむ手段を身につける。				
検定資格	なし				
教科書教材	1年次購入済のもの(「国内旅行地理ベーシック 300+α」、「旅に出たくなる地図日本」)				
授業計画	<p>I. 日本の有名駅弁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の有名駅弁をDVDなどの映像を使って学習。 ・その駅弁の販売されている地域の特性や文化なども学習。 <p>II. 日本神話のふるさと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古事記の「日本創世」～「ヤマトタケル」までのストーリーを理解。「マンガ古事記」やDVDを利用する。 ・それらの舞台となっている場所を把握し、結果そこが観光地となった所以や、関連観光地の知識を習得する。 <p>III. 日本のパワースポット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俗にいう「パワースポット」を「武運」「金運」「縁結び」の観点より整理。 ・それらの具体的場所を把握し、併せて周辺観光地も学習。 <p>IV.(上記I～Ⅲと並行授業)上記概要に記載のジャンルについて、教科書主体でプリント・小テストで知識を定着させる。</p>				
成績評価方法	各パート終了ごとに小テスト実施し、平常点としてカウントする。欠席の場合は0点扱いなので注意。期末評価試験も実施し、期末試験、出席率、平常点の総合評価とする。				
成績評価基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

2年前期迄の個々の観光知識習得、とは観点を換え、実務上役に立つさまざまな国内観光トピックスを取り上げます。楽しく学習しながら知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	海外観光資源Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 :2 単位	時間数
担当	担当講師			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて国内外の添乗員として 20 年の実務経験あり。		
授業概要	<p>目的:世界の主だった国と地域の観光資源について、基本を理解する。</p> <p>概要:すでに海外実務地理Ⅰで基本を習得していることを前提とし、観光資源を国別・テーマ別等、視点を変えてさらに学習。</p> <p>※海外観光地理検定および総合旅行業務取扱管理者試験の合格を目的とした授業ではありません。合格のためには、各自別途学習が必要です。内容および順番は変更になる場合があります。</p>			
到達目標	主だった国と地域の観光の特性が理解できる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	海外観光資源 (JTB 総合研究所) 1 年次に購入済 旅に出たくなる地図 世界 (帝国書院) 1 年次に購入済 適宜プリント配布			
授業計画	<p>【 アジア各論 】 韓国 / 中国本土 / 台湾 / 香港・マカオ / ベトナム / カンボジア / タイ / マレーシア / シンガポール / インドネシア / フィリピン / インド / ネパール</p> <p>【 中東・アフリカ各論 】 トルコ / エジプト / 宗教 / その他</p> <p>【 ヨーロッパ各論 】 英国 / フランス (後期の観光実務Ⅳに引き継がれます)</p> <p>【 期末試験と解説 】 期末試験／解説 2 時間</p>			
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意欲(小テストは意欲に含まれる)			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点 優 B: 評価試験 60 点以上、または出席率 70%以上、または平常点 良 C: 評価試験 40 点以上、または出席率 60%以上、または平常点 可 D: 評価試験 40 点未満、または出席率 60%未満、または平常点 不可			

学生へのメッセージ

職業として旅行を扱うには、当然ながら世界の地理についての基本的な知識は必須です。世界は広い！そして面白い！

シラバス(授業計画)

科目名	地域創生インバウンドⅠ・Ⅱ			科目区分	専門必修
対象	観光科 トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	間野 圭子				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	地域活性化団体に所属しながら、企業や自治体との業務を行っている。			
授業概要	インバウンドの現状や変化の流れを知り、これからのインバウンドについて学ぶ。地方の魅力的な資源を活かし、地方経済も意識した企画作りを実践的に学ぶ。				
到達目標	文化や価値観の違いを受け止め、海外からのニーズを知り企画に活かすことができるようになる。地方の魅力を発見する視点を持つようになることができる。お客さま目線で、視覚的効果に対して価値を生み出せるようになる。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>前期</p> <p>1:インバウンド 文化の違いを知る 2:地方創生 日本の魅力とは</p> <p>3:地方創生×インバウンド 企画① 4:地方創生×インバウンド 企画②</p> <p>5:ポスター 制作の前に 6:ポスター 素材</p> <p>7:ポスター レイアウト 8:ポスター 伝わるメッセージ</p> <p>9:チラシ 制作の前に 10:チラシ 情報の整理</p> <p>11:チラシ 素材 12:チラシ レイアウト</p> <p>13:クラウドファンディング① 14:クラウドファンディング②</p> <p>15:伝統文化を活かす オーバーツーリズム</p>				
	<p>後期</p> <p>1:インバウンド コト消費、現状 2:地方創生 地方の魅力</p> <p>3:地方の魅力とは 4:地方の魅力の見つけ方</p> <p>5:地方創生×インバウンド 企画① 6:地方創生×インバウンド 企画②</p> <p>7:地方創生×インバウンド 企画③ 8:地方創生×インバウンド 企画④</p> <p>9:ポスター作成① 10:ポスター作成②</p> <p>11:チラシ作成① 12:チラシ作成②</p> <p>13:海外の方へプレゼン準備 14:海外の方へプレゼン</p> <p>15:企画の振り返り</p>				
成績評価 方法	授業はチラシポスター制作を具体的にアプリを使い行う。学期末には評価試験を行う。各個人、およびグループでの制作物や評価試験を総合評価で判断する。 成果物の提出無し及び評価試験を欠席した場合は、0点として取り扱う。出席状況、授業参加意欲も評価される。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

海外からの方にとって日本への旅行の期待はどんどん高くなっています。日本人は見過ごしがちな地方の魅力を取り入れた、地方創生インバウンドについて実践形式で学ぶことができます。

シラバス(授業計画)

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	飯塚 佳代			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。指文字と手話技能検定6・5級の単語学習を中心にこなす。また、聴覚障がい基礎知識について学び、聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話などの方法でコミュニケーションがとれるようにする。			
到達目標	1年次においては手話検定5級レベルを目指す。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：手話技能検定5級			
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級(日本能率協会マネジメントセンター)			
授業計画	<p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・接客手話などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 ロールプレイなどで日常会話や接客手話を学習する。また検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 ろう者のゲストを呼び時、実際に手話を使って交流を行う</p> <p>【聴覚障がいの基礎知識】 聴覚障害者とは、日本手話と日本語対応手話、聴覚障害者数、コミュニケーションの多様性とその実践、聴覚障害者と法律・条例、耳の構造と補聴器、さまざまなマーク、ろう文化とは</p>			
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	観光プランニング I・II			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	立石 智之				
	実務経験：有・無	立石：旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	<p>昨今の観光とは、ただ「旅行に行く」だけではなくなっています。 お客様毎に達成したい目的を観光業に携わる観点から考察し「どのようにしたらお客様に喜んでもらえるか」「どうすればお客様に選ばれるか」を考えながら様々なイベントを企画します。 また各観光地を題材にしたイベント等にも参加し、お客様から見た視点を養い、改善点や問題点を見つけどのようにすれば改善できるかをグループワークを用いて学習します。</p>				
到達目標	<p>プランニングの基礎を用いて、自分達の旅行計画や他の人に向けての計画を作成する 実際に各地のイベントを参考にしながら新しいイベントの企画立案や企画書の作成を行い グループワークを中心としながら、様々な視野を持ってお客様に対応できるよう学習する</p>				
検定資格	なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>授業の概要説明と進め方 テーマ作成に当たっての注意 ツアープランニングの補足説明、ツアー作成のポイント説明 グループ分け、ツアーテーマ仮決定、意見交換会議 打合せ内容を基にツアーテーマの最終決定 決定したツアーテーマでの行程表作成 各グループのプレゼン内容の検討、再構成 パワーポイントの作成、企画発表準備 プレゼンシミュレーション、資料作成</p> <p>各グループに分かれてイベントを体験・作成することにより問題点を意見しあう。 また実際に各地のイベントに参加し、事前の問題点に改善があるのか考察すると共に新しい発見を見つける。 グループ内で、意見をだしあい資料を作成。</p> <p>発表用パワーポイント作成と、シナリオ作成</p>				
成績評価 方法	期末試験・プレゼン評価等を対象として、出席率、平常点の総合点数にて評価する				
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度プレゼン評価 80点以上、出席率90%以上、平常点優 B: 授業理解度プレゼン評価 60点以上、出席率80%以上、平常点良 C: 授業理解度プレゼン評価 40点以上、出席率60%以上、平常点可 D: 授業理解度プレゼン評価 40点未満、出席率60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	観光実務Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：2単位	時間数
担当	立石 智之			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。		
授業概要	将来、観光業界で働く学生に対し、観光業界に関する様々な業務を経験しながら、お客様に提供する観光商品について学んでいただきます。 特に就職活動がスタートしますので実際の就職活動を見据え、“幅広い業界知識”を身に付けます。 お客様に一生に一度の「感動」を約束する仕事、それが観光業です。 夢に向かって業界について学んでいきましょう。			
到達目標	観光業の基礎知識及び業務知識を習得する。 広い観光分野の中で、様々な経験をする。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし(別途プリント等を用意)			
授業計画	<p>【業界視察、トラベル研修、観光地研修】 事前学習を行い、観光地を学ぶ 観光業界の一部である鉄道・空港に関連する施設を見学し、観光とのつながりや業務を学ぶ</p> <p>【仕事・会社の種類を学ぶ】 業界の職種、主な業務内容を把握し、実習室を用いて業務を学ぶ</p> <p>【業界を学ぶ】 各業界の視察等を行い、実際の職場を見学することで就職活動や将来のビジョンを設ける</p> <p>【業界調査を行う】 1年次に学習した観光地に実際に足を運び、観て体験することで知識を養う また、現地でしか体験できない事を経験することにより、お客様の目線を持ち、相手の立場を考えながら様々な場面で活躍できる人材に必要な知識や考え方を習得する</p>			
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点において基準を満たすものを評価とする。			
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキルⅡ・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 2単位 後期 : 2単位	時間数	前期 : 30時間 後期 : 30時間
担当	宮崎 愛子				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	パソコンスクールにてインストラクターとして実務経験あり			
授業概要	1年時の学習を踏まえて実践力を修得しましょう。Word では様々な書式設定を使ったビジネス文書作成、Excel では基本関数およびグラフによるデータの視覚化、データ分析力をマスターすることが目標です。また、PowerPoint では、分かり易く効果的な資料作成を行い、実際にプレゼンテーションに挑戦します。				
到達目標	PC操作の基本を理解し、Word・Excel・PowerPoint の基本操作を修得します。 また、昨今頻繁に利用されるようになったクラウドストレージサービスや、オンラインミーティングサービス、Google スプレッドシート等の Web アプリケーションシステムの基本的な使い方も学びましょう。				
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定・Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験・PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験				
教科書 教材	・「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版)				
授業計画	<p>【 PC 基本操作の確認 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションの立ち上げや、基本的なファイル操作 ・キーボードを利用した入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正等) ・ホームポジションを意識したタッチタイピングの練習 <p>【 Word 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章入力(ベタ打ち)と併せて、文字装飾を行う ・ワードアート、図形描画、テキストボックス等を利用した表現力のある文書ファイルを作成する ・ビジネス文書の基礎と仕組みを学び、挨拶文の挿入、入力オートフォーマット、表作成等を使いこなす <p>【 Excel 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力の基礎を学ぶ ・数式を用いた計算をはじめ、基本的な関数を利用した表計算機能を使いデータファイルを作成する ・関数を利用して作成したデータをグラフへ変換し、視覚的分析の方法を学ぶ <p>【 PowerPoint 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なスライドを扱い、図や表、画像を用いたプレゼンテーション資料を作成する ・ノート機能、リハーサル機能を利用し、効率的な発表を行うノウハウを学ぶ ・テーマに合わせ、一人一人プレゼン資料を作成し、実際に発表する <p>【 その他 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・zoom を使った web 会議の基本知識を学ぶ (ビデオ操作、ミュート、チャット機能、ホワイトボード機能・ブレイクアウトルームなど) ・OneDrive・Google スプレッドシート等の Web アプリケーションシステムの概要を理解する 				
成績評価 方法	授業理解度は課題作成進捗と評価試験を総合評価で判断 出席率、授業参加意欲も評価する				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。さまざまな企業で日常的にパソコンを使用して業務を行います。「スマートフォンの方が使いやすい」「スマートフォンなら文字を早く打てる」という意見もありますが、就職してから戸惑わないよう、前向きに学習してみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	デジタルスキルⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	長谷川 慶太				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	イベント業界・ブライダル業界で SNS を運用した集客を担当			
授業概要	実際に SNS アカウントを運用して集客に結び付くような授業 動画作成・写真撮影等の技術向上				
到達目標	・SNS 運用に対する技術向上。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	参考資料配布				
授業計画	<p>【著作権】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 投稿時の注意点や危険性を学びます <p>【動画撮影・作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に動画を撮影し、編集、作成まで行います <p>【写真撮影・編集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に動画を撮影し、編集、作成まで行います <p>【SNS 投稿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通年を通して SNS 投稿を行い集客の難しさ、楽しさを学びます。 				
成績評価 方法	出席状況、小テストによる理解度判断。提出物、授業態度、参加意欲も評価。				
成績評価 基準	<p>A: 出席率 90%以上、実技試験(理解度)80%以上、提出物・平常点 優</p> <p>B: 出席率 80%以上、実技試験(理解度)70%以上、提出物・平常点 良</p> <p>C: 出席率 60%以上、実技試験(理解度)60%以上、提出物・平常点 可</p> <p>D: 出席率 60%未満、実技試験(理解度)60%未満、提出物未提出、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

どこの企業でも SNS を運用して集客するのが普通になってきました。
個人で運用している時と、企業で運用しなければいけない時の違いを身に付けましょう

シラバス(授業計画)

科目名	国内管理者対策Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 2 単位	時間数
担当	立石 智之/担当講師			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	旅行会社にて国内海外実務の経験あり。		
授業概要	JR・貸切バス・フェリー運送・宿泊機関・国内航空の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。授業内では国内旅行実務に沿った JR 運賃料金の計算などの基礎内容を学習しつつ、過去の問題やプリントで確認していきます。また、毎年間違えやすい問題や勘違いしやすい内容を繰り返し学習し本番までに問題に慣れていきます。			
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称:国内旅行業務取扱管理者試験			
教科書教材	「JR時刻表」(交通新聞社) 「国内運賃・料金」(JTB総研) 「約款・その他各種運送約款」(JTB総研)			
授業計画	<p>【JR運賃の基本原則】 JR各社について 幹線と地方交通線について 運賃の異なる会社間について 通過連絡運輸、連続運賃について</p> <p>【JR運賃計算の特例】【各種割引運賃】 特定区間、特定都市発着の運賃について 往復割引、学生割引について 団体割引運賃について</p> <p>【JR料金システム】 JR料金の基本的な考え方について 新幹線の特急料金について・在来線の特急料金について 特急料金の変動について 山形・秋田新幹線の料金について</p> <p>【その他のJR営業規則】 有効期間、払い戻し手数料について</p> <p>【その他業種の各種運賃料金】 貸し切りバス運賃料金について フェリー運賃料金について 宿泊料金について 国内航空運賃料金について</p>			
成績評価方法	授業内で小テスト実施、授業理解度は全ての小テストと評価試験を総合評価で判断 出席率、授業参加意欲も評価する			
成績評価基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	サービス接遇Ⅱ		科目区分	専門科目																
対象	観光科 トラベルコース		授業形式	演習																
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数																
担当	担当講師																			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。																		
授業概要	<p>1年次に学習した内容を、知識や情報としてではなく実践的に社会で使えるようにしていきます。 接客やサービス業に関するテーマについて、クラス全体またはグループに分かれてディスカッションやディベートをして、その結果を発表し合います。 他人の意見を感じ良く聴き、自分の意見を分かり易く話す訓練を繰り返すことで、あらゆる形態のサービス接遇に欠かせない総合的なコミュニケーション力を身に付けることができます。</p>																			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●「サービスマインド」と「サービススキル」の相違点を理解した上で、実践的な接客スキルを身につける ●アサーティブな接客に欠かせない、話す力(語彙力・表現力・説明力)と聴く力(理解力・傾聴力)を身につける 																			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:																			
教科書 教材	適宜プリント等を配布																			
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ●1年次の復習 (グループワークから「学び」と「気づき」) メラビアン^①の法則を参照しながら、グループメンバーの良かった点と自分自身の反省点を具体的にあげる <ul style="list-style-type: none"> ①視覚情報 (表情・視線・ジェスチャー・姿勢や座り方など) ②聴覚情報 (声のトーンや大きさ・話すスピード・など) ③内容 (言葉遣い・情報やデータ・説明の仕方や分かりやすさなど) ●グループディスカッション/ディベート <ul style="list-style-type: none"> ①旅行や旅客に関するテーマのディスカッション/ディベートと発表 ②今日の MVP (話し手としての視覚情報・聴覚情報・話した内容 または聴き手として) ②講師から、印象的な言語情報や非言語情報に関するフィードバック 																			
成績評価 方法	評価試験・課題・出席状況・平常点の総合評価とする																			
成績評価 基準	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">A: 評価試験 90%以上、</td> <td style="width: 25%;">出席率 90%以上、</td> <td style="width: 25%;">授業参加意欲・演習貢献度</td> <td style="width: 25%;">秀</td> </tr> <tr> <td>B: 評価試験 80%以上、</td> <td>出席率 80%以上、</td> <td>授業参加意欲・演習貢献度</td> <td>優・良</td> </tr> <tr> <td>C: 評価試験 70%以上、</td> <td>出席率 70%以上、</td> <td>授業参加意欲・演習貢献度</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>D: 評価試験 70%未満、</td> <td>出席率 70%未満、</td> <td>授業参加意欲・演習貢献度</td> <td>不可</td> </tr> </table>				A: 評価試験 90%以上、	出席率 90%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	秀	B: 評価試験 80%以上、	出席率 80%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	優・良	C: 評価試験 70%以上、	出席率 70%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	可	D: 評価試験 70%未満、	出席率 70%未満、	授業参加意欲・演習貢献度	不可
A: 評価試験 90%以上、	出席率 90%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	秀																	
B: 評価試験 80%以上、	出席率 80%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	優・良																	
C: 評価試験 70%以上、	出席率 70%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	可																	
D: 評価試験 70%未満、	出席率 70%未満、	授業参加意欲・演習貢献度	不可																	

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	Travel English II・III			科目区分	専門科目		
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習		
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間		
担当	Native teacher						
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無						
授業概要	Continuation of improving English skills with regard to traveling and become confident in speaking English with native speakers.						
到達目標	テキスト Travel English II と and III の Conversation を暗記し、添乗員のパートを、テキストを見ないで会話することが出来る。						
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:						
教科書 教材	Travel English (original text)						
授業計画	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【Airport conversation】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Baggage claim problems ➤ Travel problems ➤ Lost and found <p>【Hotel conversation】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Confirming arrival/ explaining delays ➤ Hotel check-in ➤ Schedule explanation ➤ Time expressions- digital and analogue ➤ Asking and giving directions ➤ Detailed restaurant reservations ➤ Registration questions and answers ➤ Room problems/ amenities <p>➤ Oral test revision</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【At the restaurant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Reservation seating and numbers ➤ Menu and ordering ➤ Discussing allergies and other menu issues ➤ Separating bills <p>【Reconfirming - Sightseeing】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Reconfirmation conversations ➤ Checking fees for different people <p>【Hotel Check-out】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Arranging check-out ➤ Arranging baggage pick-up and explaining plans ➤ Making claims regarding charges <p>➤ Oral test preparation</p> </td> </tr> </table>					<p>【Airport conversation】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Baggage claim problems ➤ Travel problems ➤ Lost and found <p>【Hotel conversation】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Confirming arrival/ explaining delays ➤ Hotel check-in ➤ Schedule explanation ➤ Time expressions- digital and analogue ➤ Asking and giving directions ➤ Detailed restaurant reservations ➤ Registration questions and answers ➤ Room problems/ amenities <p>➤ Oral test revision</p>	<p>【At the restaurant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Reservation seating and numbers ➤ Menu and ordering ➤ Discussing allergies and other menu issues ➤ Separating bills <p>【Reconfirming - Sightseeing】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Reconfirmation conversations ➤ Checking fees for different people <p>【Hotel Check-out】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Arranging check-out ➤ Arranging baggage pick-up and explaining plans ➤ Making claims regarding charges <p>➤ Oral test preparation</p>
<p>【Airport conversation】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Baggage claim problems ➤ Travel problems ➤ Lost and found <p>【Hotel conversation】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Confirming arrival/ explaining delays ➤ Hotel check-in ➤ Schedule explanation ➤ Time expressions- digital and analogue ➤ Asking and giving directions ➤ Detailed restaurant reservations ➤ Registration questions and answers ➤ Room problems/ amenities <p>➤ Oral test revision</p>	<p>【At the restaurant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Reservation seating and numbers ➤ Menu and ordering ➤ Discussing allergies and other menu issues ➤ Separating bills <p>【Reconfirming - Sightseeing】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Reconfirmation conversations ➤ Checking fees for different people <p>【Hotel Check-out】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Arranging check-out ➤ Arranging baggage pick-up and explaining plans ➤ Making claims regarding charges <p>➤ Oral test preparation</p>						
成績評価 方法	Test (written and oral), attendance, classroom attitude and effort.						
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>						

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	マイクロツーリズム I・II			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期: 2単位 後期: 2単位	時間数	前期: 30時間 後期: 30時間
担当	澤内 隆				
	実務経験: <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	港区観光大使をはじめ、地域未来企画理事など数多くの観光アドバイザーを務める。			
授業概要	新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに、旅行を自粛する動きが広がりました。今の時勢にふさわしい新しい旅行の楽しみ方、「マイクロツーリズム」の由来や魅力、楽しみ方のポイントを詳しく学び、実際に観光業としてのマイクロツアーを検討してみましょう。				
到達目標	地域における観光要素を確認し、新たな観光資源を見つけ発信できるようにする。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロツーリズム →マイクロツーリズムとは何なのかを考え、定義や意味を理解する。 ・地域の魅力の再発見 →地元・千葉などを含めて『歴史・文化・食』を通じてどのような観光素材があるのか、を研究する。 ・全国のマイクロツーリズム事例と地域の学習 →コロナ後に発展した各地のマイクロツーリズムを確認し、事例を踏まえて地域にもたらした影響や経済効果等を含めて地域発展を考える。 ・各自の考えるマイクロツーリズム →個人もしくはグループワークを用いて考えるオリジナルのツアーを考える。 ・実地調査 →状況によって、地元及び対象地域のマイクロツーリズムを体験する。 				
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点において基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	観光実務Ⅳ	科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース	授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期 :2 単位
担当	担当講師		
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	旅行業界にて国内外の添乗員として 20 年の実務経験あり。	
授業概要	<p>目的:世界の主だった国と地域の観光資源について、基本を理解する。</p> <p>概要:すでに海外実務地理Ⅰで基本を習得していることを前提とし、観光資源を国別・テーマ別等、視点を変えてさらに学習。</p> <p>※海外観光地理検定および総合旅行業務取扱管理者試験の合格を目的とした授業ではありません。合格のためには、各自別途学習が必要です。内容および順番は変更になる場合があります。</p>		
到達目標	主だった国と地域の観光の特性が理解できる。		
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:		
教科書 教材	海外観光資源 (JTB 総合研究所) 1 年次に購入済 旅に出たくなる地図 世界 (帝国書院) 1 年次に購入済 適宜プリント配布		
授業計画	<p>【ヨーロッパ各論】 (前期の海外観光資源Ⅲより引き継がれます) スペイン / イタリア / オーストリア / スイス / ドイツ / イタリア / 宗教画 / 北欧のアイスホテル</p> <p>【オセアニア各論】 オーストラリア / ハワイ</p> <p>【北米各論】 アメリカ合衆国 / カナダ</p> <p>【中南米各論】 メキシコ / カリブ地域 / 南米の絶景</p> <p>【期末試験と解説】 期末試験／解説 2 時間ずつ</p>		
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意欲(小テストは意欲に含まれる)		
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点 優 B: 評価試験 60 点以上、または出席率 70%以上、または平常点 良 C: 評価試験 40 点以上、または出席率 60%以上、または平常点 可 D: 評価試験 40 点未満、または出席率 60%未満、または平常点 不可		

学生へのメッセージ

職業として旅行を扱うには、当然ながら世界の地理についての基本的な知識は必須です。世界は広い！そして面白い！

シラバス(授業計画)

科目名	自己表現Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベルコース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	響 丈			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	ボイストレーナーとして企業研修など実務経験あり。		
授業概要	入社試験の面接を突破するためには、自分自身が思っていること、持っている熱意をきちんと伝えることが重要です。ところが、それをうまくできる人はなかなかいません。自分自身をきちんと表現し、伝える技術を学びます。			
到達目標	入社試験及び入社後の社会人生活の際に、自身の思っていることをきちんと伝えられるようになる。			
検定資格	なし			
教科書 教材	プリントを配布			
授業計画	<p>【ボイストレーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えるとは ・腹式呼吸 ・口の開け方 ・発声練習 <p>【日本語の基本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝わる話し方 ・抑揚のつけ方 ・表情のつけ方 <p>【実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿読み ・面接練習 <p>【インプロビゼーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の殻を破る ・自主性を持って行動する。 ・機転の利く考え方を学ぶ。 ・恥ずかしさを取る。 ・失敗を恐れずにトライすることに慣れる。 			
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で100点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。			
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度90%以上、出席率90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業理解度70%以上、出席率70%以上、平常点良</p> <p>C: 授業理解度40%以上、出席率60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業理解度40%未満、出席率60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

伝え方を学んで、自信をもって面接に臨みましょう！

シラバス(授業計画)

科目名	社会人準備講座		科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベルコース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期: 1単位	時間数
	後期: 15時間			
担当	立石 智之			
	実務経験: 有・ <input type="checkbox"/>			
授業概要	これから社会人として活躍するために、身につけておかなければならない最低限の常識やマナー、言葉遣いについて学びます。 社会に出て恥ずかしい思いをしないよう事前準備をしっかりと行いましょう。			
到達目標	社会人として求められる最低限の常識、マナーや言葉遣いを実践できることを目標とする			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する			
授業計画	<p>【社会人としての心構え 基本マナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人と学生の違いを考える ・新卒で働く意義とは ・あいさつ 仕事に対する姿勢 ・周囲とのコミュニケーション SNS サービスの怖さ <p>【社会人としての常識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ ・電話の対応(かけ方、出方、取りつぎ方、切り方) <p>【社会人としての言葉遣い、社交文章】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧語、尊敬語、謙譲語の使い方 ・ビジネス文書の書き方、ビジネスメールの書き方、会社で使うビジネス用語 <p>【お金についての基本情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を稼ぐ、使う、貯める ・税金について、円/ドル相場と株のしくみ <p>【社会人講和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩社会人からの実体験を交えた講和 			
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。			
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	インプロビゼーション		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
	後期：15時間			
担当	響 丈			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	ボイストレーナーとして企業研修など実務経験あり。		
授業概要	インプロビゼーションとは、即興のことをいいます。 社会に出ると、その場で考え即座に行動しなければならないことが多々あります。 そのために、テキストに従って学ぶ通常の学習ではなく、やりかたを知らないことをやってのけることにチャレンジしたり、即興力をつけるトレーニングを行います。			
到達目標	失敗してもやり直せるさというある意味での気楽さや、失敗だと思ったことでも上手に使えるば失敗は失敗でなくなるというタフさを身につける。			
検定資格	なし			
教科書 教材	プリントを配布			
授業計画	<p>【インプロゲーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前呼びゲーム ・Oh balls ・1文字だけゲーム ・はい、そうなんですゲーム ・音ボール ・ピン！ボン！パン！ ・シンクロ手拍子 etc <p>【エチュード演劇】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらすじもセリフもない状態で即興で芝居をする。 			
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で100点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。			
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度90%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業理解度 70%以上、出席率 70%以上、平常点良</p> <p>C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

即興力を鍛えて、頭の回転力をつけましょう！

シラバス(授業計画)

科目名	マーケティング			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期: 1単位	時間数	後期: 15時間
担当	立石 智之				
	実務経験: 有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	一般的には堅いイメージの「マーケティング」を身近な目線で勉強していきます。また、消費者の行動原理や心理状態を知ることによってビジネスに関わる意識を持ってもらう。				
到達目標	社会に出た際に、「マーケティング」を少しでも生かすことが出来るよう理解する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する				
授業計画	<p>マーケティングの基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスマーケティング <ul style="list-style-type: none"> →流通、観光、エンタテインメントなどサービス分野のマーケティングについて、理論・分析手法などを多くのケーススタディを用いて学ぶ。毎回、学生は配布された課題について事前に準備をして、グループワークを交えた学生参加型の授業で理解を深める。 ・消費者行動論 <ul style="list-style-type: none"> →消費者の行動を予測し、予測のための知識を習得し、それを基礎として有用なマーケティング戦略を考える力を身に付けることを目的とする。認知心理学や社会心理学を用いながら、消費者の購買行動やその背後にある心理状態を学習する。たくさん事例を取り上げながら、現実世界での応用の仕方についても理解する。 <p>PBL(Project Based Learning)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示されたマーケティング課題に対して、学生がチーム単位で課題解決に取り組む。また、今後の自身の就職する分野を考慮して、様々な事例を考えながら「消費者の視点」を理解する。 				
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点において基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	国内管理者対策補講		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
	後期：60時間			
担当	立石 智之/松川 信也/担当講師			
	実務経験：有・無	立石:旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。 松川:元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。 担当講師:旅行会社にて国内海外実務の経験あり。		
授業概要	「国内旅行業務取扱管理者」試験(9月実施)に向けて、4月中に受験の意思を確認し、その後試験までの4か月の特別プログラムを組み各科目別に授業を行います。放課後や夏季休暇中を利用し基礎内容を復習しつつ、過去の問題やプリントで細かく確認していきます。 学習項目としては「旅行業法」「旅行業約款」「国内旅行実務」に基づき、法律や地理、JR運賃料金などを時間割ごとに学習していきます。1年に一度しか受験できない国家資格合格に向けて万全の態勢で臨みましょう!			
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験の合格			
検定資格	なし・必修・任意 名称:国内旅行業務取扱管理者試験(選択した学生のみ)			
教科書 教材	「旅行業法およびこれに基づく命令」(JTB総研) ※その他・1年時に授業で使用した教科書を使用します。			
授業計画	<p>【旅行業法】 授業内容を基に知識の確認を行います。 内容:申請書の登録事項、各種書面の交付、広告の表示方法 標識について(過去問を使用します) 各回に行った模試の解答及び解説</p> <p>【旅行業約款】 前期に行った授業内容を基に知識の確認を行います。 内容:契約書面、確定書面、旅行者・旅行業者の解除権 旅程保証、特別保証規定(過去問を使用します) 各回に行った模試の解答及び解説</p> <p>【国内旅行実務】 前期に行った授業内容を基に知識の確認を行います。 地理:自然景観、温泉・祭り、日本文化 実務:運賃料金の算出(基本・早見表)、グリーン料金・寝台料金 在来線・新幹線の運賃料金、乗継割引、払い戻し 有効期間、割引運賃、特定区間、連続運賃 各回に行った模試の解答及び解説</p> <p>【模擬試験】</p>			
成績評価 方法	小テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。			
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	企業実習			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	2単位	時間数	60時間
担当	企業及び職員				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	各企業現場指導者より			
授業概要	観光業界及び接客業における各業種、飲食、遊戯、販売、誘導の企業実習にて実施する。				
到達目標	実習内で習得した接客技術や知識を実際の観光業界で活かす。 自己評価と実習生に対して企業側評価を行い、観光業界へすすむにあたり学生へのフィードバックを行う。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>①観光施設補助 ・観光施設の受付、案内等</p> <p>②飲食施設実習 ・飲食運搬、レジ、接客業務 ・調理補助、食材の発注 ・施設のご案内、電話応対</p> <p>③遊戯施設実習 ・遊戯施設の施設点検、安全管理、施設の運航補助 ・チケット、年齢、身長制限の確認、接客業務 ・施設のご案内、電話応対</p> <p>④販売施設実習 ・商品の補充、レジ、接客業務 ・施設のご案内、電話応対</p> <p>⑤その他 ・就職を検討する各業界の実習における業務研修</p>				
成績評価 方法	実習時間及び実習期間による実習評価				
成績評価 基準	R:実習時間 60 時間以上、尚且つ実習評価が標準以上 D:実習時間 60 時間未満				

学生へのメッセージ

実習で学んだ経験を今後の学習・就職に活かすようにしてもらいたいです。